



島教協

《 すべては「子供たちのために」 》 情 報

http://
www.kyougikai.org

E-mail
office@kyougikai.org

〒693-0011 出雲市大津町2214 Tel/Fax:0853(22)7762 代表者 安達利幸 編集人 石原康博 No.599

第3回教育講演会 「授業技術を磨く」

授業の根本は学力形成！



十月五日(日) 出雲市内において、島根県教育文化研究所は、資質向上プログラムの第三回教育講演会を開催した。講師には、「鍛える国語教室」、「授業道場 野口塾」の主宰者で、植草学園大学発達教育学部の教授、野口芳宏氏をお招きし、「授業技術を磨く」と題して、お話しいただいた。

野口氏は、授業の根本・本質をふまえて、それに沿った実践をしなければ意味がないとして、「授業の根本は学力形成である。」と話された。講義だけでなく、演習も取り入れながら、実際の授業のように緊張感とユーモアのある講演で、「本質的な問題はどこにあるのかを常に考える。」、「授業の前後で変わる(変容)ということが大切。向上的変容の連続的保障をしなければならぬ。」、「学力形成の五つの視点」など、示唆に富んだ内容であった。

【参加者の感想】

- ・ 根本、本質、原点の話、大変参考になりました。普段の授業で何を変えていけばよいのか少し分かったように思います。流行に流されず、不易の部分を大事にして学力形成に力を入れていきたいと思えます。
- ・ 明日から使えることがたくさん学べたので、とても有意義な講演だった。

- ・ 講演そのものに授業のノウハウが込められていて、とても参考になりました。また、面白かったです。
- ・ ドキドキしながら、教育の原点について、考えさせられました。話にあったように毎日の作業に追われている自分自身にカツを入れていただきました。学力形成を目指して明日からがんばろうという意欲をもらいました。同僚に声をかけずに来たことが悔やまれました。

- ・ 野口先生の授業を受け、まさに期待と緊張の連続でした。授業前と今、私の心、頭は確実に変化しました。こういう充実感を子どもにもたせることが大事だと実感しました。

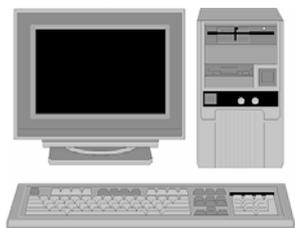
- ・ 参加型の講演でとてもよかったです。



演習の風景

【教員免許更新制Q&Aについて】

今年度、予備講習が行われている教員免許更新制。情報が少なく、不安も多いことと思います。九月二十五日、文部科学省のホームページに「教員免許更新制Q&A」がアップされました。島教協ホームページからも見ることができ、参考にしてください。今後とも来年度の本実施に向けて、情報を提供していきたいと思えます。



未来に希望を持たせる声かけをしよう



九月二十日(土)、島根県教育文化研究所は、益田市人権センターにおいて、第二回教育講演会を開催した。講師には、今年度二度目となる倉敷市立短期大学の平山諭氏をお招きして、「ADHD・PPD症状に対応する授業スキル」と題して講演いただいた。

【参加者感想】

・脳が変わっているということを改めて実感しました。二十数年教職についていますが、自分がきりかえていかなければいけない時期に来ているなと思いました。

・とても具体的で、わかりやすかったです。実際に自分がしていることを振り返り、どこがまずくて、どう変えていけばいいのか、明確になりました。とても楽しい時間で、ドーパミンがちゃんと出ていたと思います。

・脳の満足度のお話は、目から鱗が落ちる思いでした。いざ自分のクラスとなると、なかなかうまく対処できないと思っていました。が、技術を学び、使っていくことが大切だと分かりました。

・未来に希望(期待)をもたせる声かけをしようという平山先生の言葉が心に残りました。また、ビデオでの授業や指導の様子解説では、自分のことを見ているようでした。

出教協 第二回執行委員会

九月二十五日(木)、出雲市教職員協議会は、出雲市内において第二回執行委員会を開催した。今回は、会員アンケートをもとに、十一月に行う予定の対市交渉の要望項目について検討を行った。



署名活動・アンケート

今年度の署名活動・島教協会員アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今年度もたくさんの方に署名にご協力いただきました。感謝、感謝です。

教職員定数の改善や教員給与の見直しが叫ばれる中、島教協は、全日教連と連携して、国に対して要望活動を行っています。平成二十一年の一月から、義務教育等教員特別手当は、本給の三・八%から三%へ縮減されます。さらに平成二十二年には、三%が二・二%に縮減される見通しです。



筆 300 名 署名
 県教委や地教委への要望・申し入れでは、アンケートや学校訪問でお聞かせいただいた、会員の声を直接行政に伝えていきます。特に、教材研究や生活・生徒指導、支援が必要な子どもの指導・連絡調整等にしつかりと時間を割きたいのに、様々な業務に時間を割かねばならず、毎日心を痛めていらっしゃる先生方のなんと多いことか! こうした実態を伝えられるのは、職員団体しかありません。今後もご協力の程よろしくお願いいたします。

学校紹介

松江市立大野小学校

大野小学校は、松江市の西のはしにあり、南は宍道湖、北は日本海に面しています。全校児童は76名の小さな学校ですが、みんな元気に学校に来ています。

本校では、時間を意識して自主的に行動できるようにとノーチャイムで生活しています。活動の中には、各学年や委員会の発表を行う大野っ子タイムや基礎的な学力を身につけるために、「パワーアップタイム」、「チャレンジ週間」を行っています。